

幼児教育推進体制構築事業 2018

# 実践の記録



気仙沼市教育委員会

# 目 次

	ページ
◆ 平成30年度調査に係る報告	1
◆ 気仙沼市の幼児教育に係る基礎データ <small>子ども家庭課資料</small>	
◇就学前児童の人口（市全体）	5
◇市内全地区就学前児童の施設利用状況	6
◇平成30年度 児童福祉施設等入所状況	7
◇気仙沼市の将来人口推計（全体）	9
◆ 幼児教育の推進体制構築事業概要 <small>文部科学省資料</small>	11
【調査研究実行委員会】	
◆ 第3回調査研究実行委員会次第	18
◆ 第4回調査研究実行委員会次第	19
【施設訪問】	
◆ 小学校訪問記録 <small>平成30年4月22日～6月18日</small>	20
◆ 幼稚園・保育所訪問記録 <small>平成30年5月28日～9月5日</small>	21
【研修会】	
◆ 平成30年度第1回幼保小連携・接続研修会	23
演題 「幼児の見取りと教師の関わり」	
講師 お茶の水大学 人間文化創成科学研究科 教授 浜口順子 氏	
◇講師資料	25
◇グループワーク概要	29
◇参加者アンケート	30
◆ 平成30年度第2回幼保小連携・接続研修会	35
演題 「幼児の成長と小学校への円滑な接続」	
講師 宮城教育大学 教育学部幼児教育講座 教授 佐藤 哲也 氏	
◇講師資料	37
◇グループワーク概要	40
◇参加者アンケート	41
◆ 幼児教育・初任者層研修会	47
◇参加者アンケート集計	48
◆ 幼児教育・スキルアップ研修会	51
◇参加者アンケート集計	52
◆ 幼児教育・鹿折こども園保育公開・研修会	55
◇参加者アンケート集計	56
◆ 秋田県幼児教育推進体制構築事業秋田県わか杉っこ！育ちと学び支援事業フォーラム （気仙沼市事例発表あり）	61
【アプローチカリキュラム作成】	
◆ アプローチカリキュラム作成委員会概要	65
◇アプローチカリキュラム作成委員会要項・気付き 作成委員の声	66
◇アプローチカリキュラムモデル（気仙沼市版）	72
◆ 気仙沼市幼児教育の推進体制構築事業のまとめ	
◇事業報告	75
◇事業に対するアンケート結果	81



# 平成30年度 調査に係る報告

気仙沼市幼児教育コーディネーター

## 1 今年度の取り組み

### (1) 幼児教育指導体制の安定化

- ①幼児教育コーディネーターの組織化
- ②気仙沼市教職員対象研修プランの作成
- ③その他

### (2) 幼保小連携事業の体制づくり

- ①気仙沼市の5歳児対象アプローチカリキュラムの作成
- ②幼保小連携・接続研修会(2回)
- ③小学校区毎の幼保小連携事業への参加

### (3) 調査研究

- ①小学校訪問
- ②幼稚園・保育所訪問
- ③保護者の対応に係る課題についてのアンケート実施
- ④その他

## 2 詳細

### (1) 幼児教育指導体制の整備

#### ① 幼児教育コーディネーターの組織化

・ 6月 4日	平成30年度「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会〈本吉公民館〉	(4名)
・ 9月～11月	平成30年度「子育てサポーターリーダー養成講習会」〈県庁〉	(1名)
・ 10月11,12日	平成30年度「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」フォーラム in 大館	(3名)
	※ 事例発表【気仙沼市の取組】	※ 公開保育と分科会
・ 10月17日	宮城教育大学附属幼稚園公開研究会	(2名)
・ 10月23日	平成30年度 第3回「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会〈大谷幼〉	(1名)

#### ② 気仙沼市教職員対象(スキルアップ研修会)の企画・実施

##### ア 市内幼保教職員対象にした研修会

〈気仙沼市中央公民館〉

・ 10月17日	「私立幼稚園連合気仙沼地区研修会兼気仙沼市教育委員会スキルアップ研修会」
	講話 「子どもの育ちの理解」
	講師 社会福祉法人クレッシェンド バオバブ保育園 大原 慎 氏
	〈参加者〉 46名(幼保教職員)

##### イ 初任者を対象とした教育研修

- 公立幼稚園 〈新規採用職員...保育経験者2名〉
  - ・ 津谷幼稚園 新規採用教員研修園内研修指導員 幼児教育コーディネーター(1名)
  - ・ 津谷幼稚園, 松園幼稚園 指導主事訪問の保育参観 幼児教育コーディネーター(3名)
- 初任者層研修会〈全施設対象〉
  - ・ 日時: 9月 5日(水) ・会場: 津谷幼稚園(指導主事訪問), 本吉公民館
  - ・ 参加者: 5名 幼稚園 2名(私立・公立)  
保育所 3名(認可・小規模)

## (2) 幼保小連携事業の体制づくり

### ① 気仙沼市の5歳児対象アプローチカリキュラムの作成

月 日	研修会名	研 修 内 容	参加者
5月25日	第1回 作成委員会	研修「気仙沼市の保育・幼児教育の基本理念を踏まえたアプローチカリキュラムの作成」 講師 教育委員会副参事 小野寺裕史 グループ討議 (1)「5歳児の実態について」	幼児教育施設 22名 子ども家庭課 1名 教育委員会 2名 コーディネーター4名
7月27日	第2回 作成委員会	グループ協議 (1)「5歳児の課題について」 (2)「育てたい力の設定」	幼児教育施設 25名 子ども家庭課 1名 教委2名・コーディ4名
10月26日	第3回 作成委員会	グループ協議 (1)「各園・所の主な活動, 体験の配置について」 (2)「幼保連携型・気仙沼認定こども園」を想定したアプローチカリキュラムの作成	幼児教育施設 21名 子ども家庭課 1名 教育委員会 2名 コーディネーター4名
12月18日	第4回 作成委員会	グループ協議 (1)「気仙沼市アプローチカリキュラムモデル(案)の検討」 (2)「アプローチカリキュラムの今後の活用について」	幼児教育施設 23名 子ども家庭課 1名 教育委員会 2名 コーディネーター3名

### ② 幼保小連携・接続研修会

月 日	研修会名	演 題 と 内 容
8月24日	第1回 「幼保小連携」研修会	・講演「幼児の見取りと教師の関わり」 講師 お茶の水女子大学 教授 浜口順子氏 ・グループごとの話し合い(12小学校地区) ファシリテーター 宮城教育大学 教授 佐藤哲也氏
2月8日	第2回 「幼保小連携」研修会	・研修講話「幼児の成長と小学校への円滑な接続」 講師 宮城教育大学 教授 佐藤哲也氏 ・グループごとの話し合い(12小学校地区)

### ③ 小学校区毎の幼保小連携事業への参加

月 日	名 称	内 容	参加者
10月29日	面瀬地区 第2回幼保小連携担当者会議 (面瀬小学校)	「継続可能な交流活動計画」 ○幼保小連携推進計画の見直しについて	岩月保育所(主任・年長担任)1名 葦の芽星谷幼稚園(年長担任)1名 面瀬小学校 3名 (校長,1年生担任,前年度担任) コーディネーター 2名
11月22日	面瀬地区フェスタ 【おもせっこまつり】 (面瀬小学校体育館)	面瀬地区交流活動 ・お店紹介 ・交流活動 ・振り返り	面瀬小学校(1年生) 岩月保育所(全園児) 葦の芽星谷幼稚園(年長児) コーディネーター 2名

### ( 3 ) 調 査 研 究

- 【 小学校訪問 】 ○ 実施時期：4月～6月 (全小学校)  
 〈ねらい〉 ① 幼保小の連携について .... 各小学校の取組状況と課題について把握する。  
 ② 小学1年生の現状について .... 学校生活における課題について把握する。

- 【 幼稚園・保育所訪問 】 ○ 実施時期：5月～9月 (全幼児教育施設)  
 〈ねらい〉 ① 前年度訪問による助言や支援の成果と、各施設の課題解決に向けた取組の実態を把握する。  
 ② 年長5歳児の現状について.... 小学校入学までの課題を把握する。

【 保護者の対応に係る課題について 】

- 平成30年1月 保護者アンケート実施 (市内全幼児教育施設の年長児保護者対象)  
 5月 保護者追跡アンケート実施 (市内全小学校1年生の保護者対象)  
 〈ねらい〉 ① 就学を控えた年長児保護者の心配事や幼児教育施設への課題等を把握する。  
 ② 入学後の親の視点での再アンケートを実施し、課題解決の手立てを把握する。

【 その他 】 ・各種訪問

- 〈ねらい〉 ① 実態把握と、コーディネーターとしての指導助言に係る技能を向上させる。

ア 研究会	国公立幼稚園・こども園協議会気仙沼支部大会 金銭教育 (唐桑幼稚園)	4名
イ 教育実践発表会.	市教育研究員発表会 (中央公民館)	2名
ウ 保育公開	気仙沼市立鹿折こども園「保育公開・施設見学会」 ※打ち合わせと準備会等 7回 (9月～11月)	4名
エ その他	運動会, 発表会, 子育て支援事業, その他	随時参加

### 3 ま と め

- 3年間継続しての研修会や訪問指導を行ったことで、保育への向上心が育ってきたように思うが、日々の保育業務に追われて自己研修等ができていない現状がうかがわれる。今後は、園(所)内研修の時間を確保し保育の改善ができるような訪問指導が必要と思われる。
- 今後の施設訪問においては、幼児教育施設の先生方と小学校の先生方がお互いに保育・授業参観をすることで幼保小連携事業の共通理解が深まり、幼保小連携事業が更に進むものと思う。
- 初任者層研修会で保育参観後に研究協議を実施したところ、日々の保育を振り返っての気づきや保育に向き合う姿勢等の活発な意見交換をすることができた。これからも継続していくことで、初任者の保育力の向上につなげたい。
- 研修の機会が少なく、参加職員から伝達される時間も限られていることから、今年度開催された私立幼稚園・保育所合同スキルアップ研修会のように共催して進めていくことで、より多くの職員が研修に参加することができ、資質の向上につながるものと思われる。
- 鹿折こども園での保育公開は、保育所の公開保育研修会の必要性が実感できる第一歩だった。今後も保育所での保育公開を継続してほしい。
- 幼保小連携・接続研修会では、講話後に共通の視点でグループ討議を行い、課題や教師、保育者の関わり方などについて話し合うことができた。今後も全体での研修会のほか、小学校区毎の担当者会議を設けていく必要がある。
- アプローチカリキュラムの作成に市内の全幼児教育・保育施設の代表者で取り組み、「アプローチカリキュラムモデル(気仙沼版)」が完成したことはたいへん有意義であった。更に検討を重ね、保育と教育の円滑な接続を図るための「アプローチカリキュラム検討委員会」実施を願う。

幼児教育推進事業 平成30年度実施事業

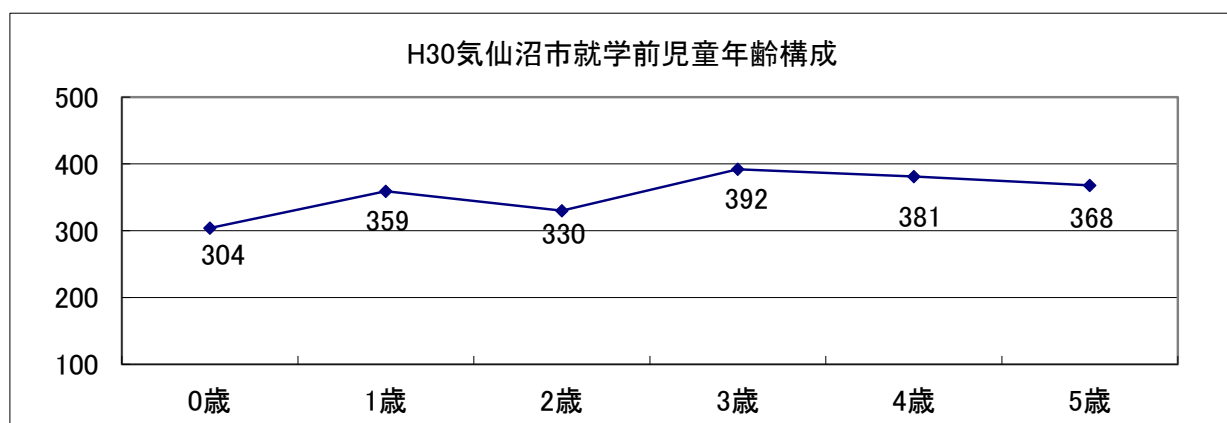
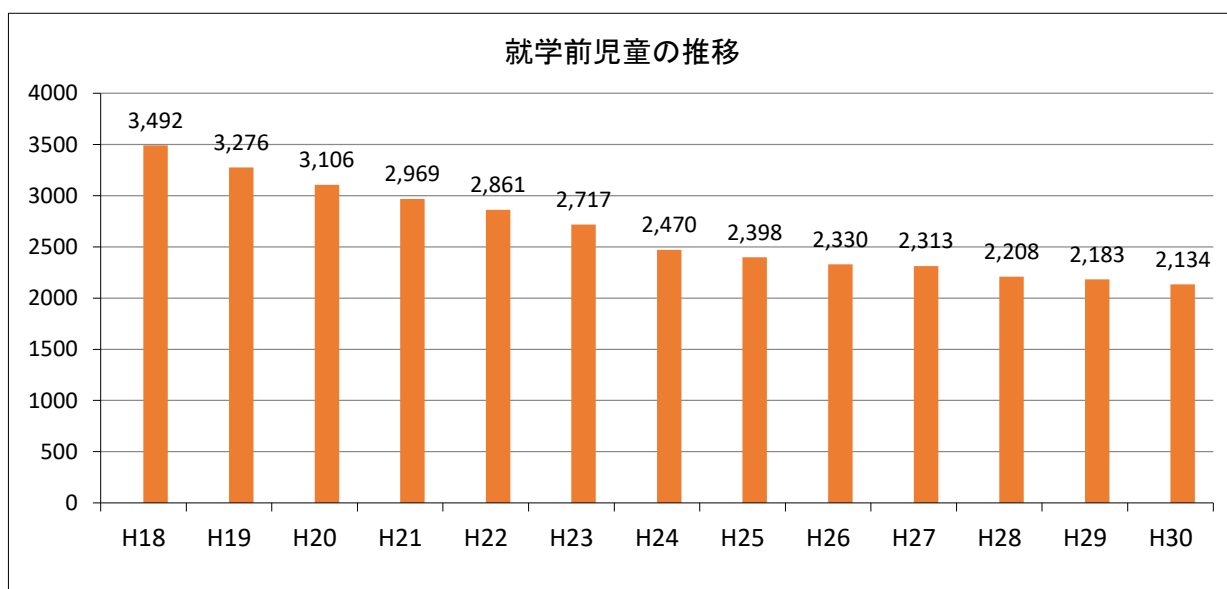
気仙沼市教育委員会学校教育課

期日	曜	事業名	内容・備考		
4	20	金	幼児教育推進会議①	こども家庭課合同	
	22	日	コ幼保小施設訪問 (津谷小参観日～9月末)		
	27	金	国立幼稚園・こども園連絡協議会 気仙沼支部総会 (小泉幼稚園)		
5		コ	保護者アンケート	小1保護者対象	
	25	金	コアプローチカリキュラム作成 (～12月) ①		
	28	月	馬籠幼稚園指導主事B訪問 参観		
6	4	月	第1回学ぶ土台づくり圏域別親の学び研修会	本吉公民館	
	8	金	群馬県前橋市幼児教育センター長視察訪問対応 (4名)		
	28	木	唐桑幼稚園指導主事B訪問 参観		
7		コ	施設訪問のまとめ, コ8月研修会準備		
	10	火	特別支援教育支援員講習会		
	12	木	小泉幼稚園指導主事B訪問 参観		
	13	金	平成30年度北海道東北ブロック保育研究大会		
	24	火	大谷幼稚園指導主事B訪問 参観		
	27	金	コアプローチカリキュラム作成②		
8	8	水	唐桑幼稚園指導主事C訪問 参観		
	24	金	第3回幼児教育研修会 13:20～14:40 80' 「幼保小連携・接続研修会」 ①講演 演題「幼児の見取りと教師の関わり」 ②ワークショップ・情報交換 14:50～16:00 アプローチカリキュラム, スタートカリキュラム, 各校園の課題について		講師 お茶大教授 浜口順子 氏
			第3回調査研究実行委員会 16:30～18:00 90' ◇アプローチカリキュラムの開発, 推進 ◇幼保連携の進め方		助言 宮教大教授 佐藤哲也 氏
			幼児教育交流会 18:30～20:30 ◇今後の展望, 継続的な指導体制の構築について		調査研究実行委員 お茶大教授浜口氏, 宮教大教授 佐藤氏, 県企画室丸子氏, 他
	28	火	幼児教育推進会議②		子ども家庭課合同
	30	木	松園幼稚園指導主事B訪問 参観		
9	5	水	津谷幼稚園指導主事B訪問 参観		
	5	水	コ初任者層研修会, 子育てサポートリーダー研修会 (～11月・全3回)		
	7	金	鹿折こども園保育公開打ち合わせ (～11/12・全5回) 発表資料作成		
10	9	火	文部科学省ヒアリング		
	11	木	●幼児教育推進事業研究会・発表		主催：秋田県教委, 大館市
	12	金	「わか杉っ子!育ちと学び支援事業フォーラム」		コーディネーター3人, 事務局2人
	17	水	※私立幼稚園・保育所合同スキルアップ研修会 講話 「子どもの育ちの理解」		講師 社会福祉法人クレッシェンド バオバブ保育園 大原慎 氏
	17	水	宮教大附属幼稚園公開保育		
	23	火	第3回学ぶ土台づくり圏域別親の学び研修会		
11	26	金	コアプローチカリキュラム作成③		
	29	月	面瀬地区幼保小連携担当者会議		
	8	木	唐桑幼稚園 金銭・金融教育公開研究会 参観		
	13	火	鹿折こども園保育公開 (11/20反省会)		
12	22	木	面瀬地区フェスタおもせっこ祭り参観		
	18	火	コアプローチカリキュラム作成④		
1	28	月	第4回調査研究実行委員会 15:00～17:00 ◇幼保小の接続を目指した取組と体制づくりについて ◇幼児教育の充実に向けた今後の体制について	調査研究実行委員 お茶大教授浜口氏, 宮教大教授 佐藤氏, 県企画室丸子氏, 他	
2	1	金	気仙沼市教育研究員発表会 参観		
	1	金	幼児教育意見交換会：文科省		コーディネーター2人, 事務局2人
	4	月	奥州市教育委員会視察訪問対応		
	8	金	第4回幼児教育研修会 13:20～16:20 ●幼保小連携・接続研修会 講話・ワークショップ		講師 宮教大教授 佐藤哲也 氏
			コ		成果報告資料作成
3			コ	次年度以降の事業確認	次年度事業調整
	13	水	幼児教育推進会議③	子ども家庭課合同	

# 気仙沼市就学前児童の人口推移

平成30年3月31日現在

年	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	対前年比
H18	468	542	549	615	646	672	3,492	—
H19	454	475	552	542	610	643	3,276	93.8%
H20	458	455	486	546	548	613	3,106	94.8%
H21	451	468	464	491	548	547	2,969	95.6%
H22	401	476	475	477	483	549	2,861	96.4%
H23	425	404	468	471	474	475	2,717	95.0%
H24	356	405	381	435	448	445	2,470	90.9%
H25	353	377	404	381	435	448	2,398	97.1%
H26	371	362	376	404	388	429	2,330	97.2%
H27	383	379	372	372	412	395	2,313	99.3%
H28	313	384	370	365	367	409	2,208	95.5%
H29	349	328	389	383	371	363	2,183	98.9%
H30	304	359	330	392	381	368	2,134	97.8%

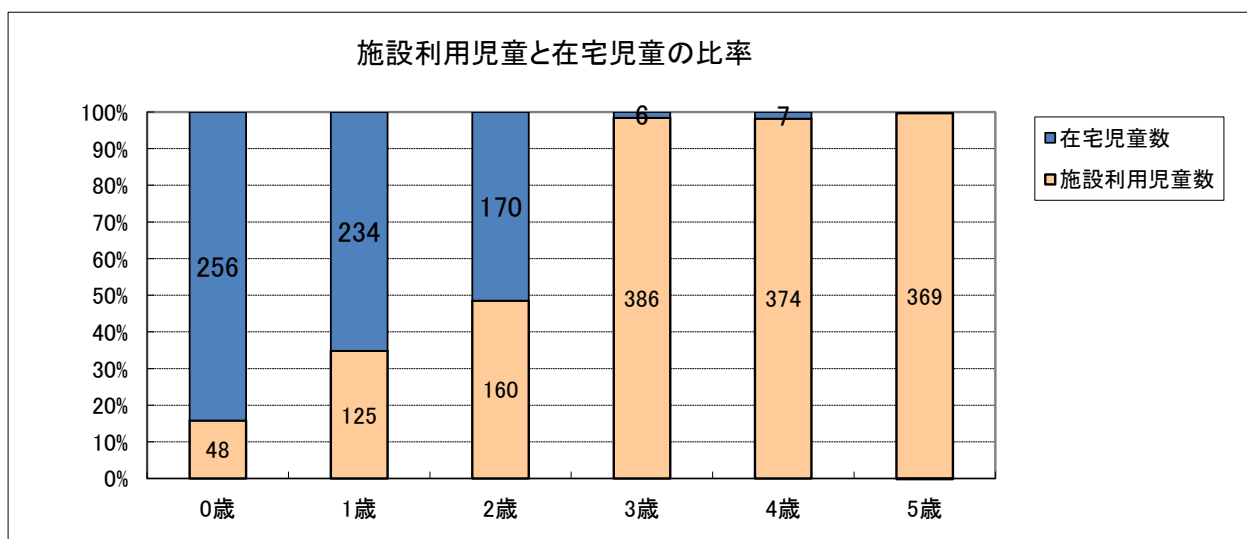




## ●市内全地区就学前児童の施設利用状況

平成30年4月1日現在

種別	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可保育所	10	38	90	106	100	88	92	514
		12.5%	25.1%	32.1%	25.5%	23.1%	25.0%	24.1%
認可こども園	1	6	12	11	16	18	13	76
		2.0%	3.3%	3.3%	4.1%	4.7%	3.5%	3.6%
小規模保育所	5				12	21	13	46
					3.1%	5.5%	3.5%	2.2%
地域型保育	1	4	3	3				10
		1.3%	0.8%	0.9%				0.5%
認可外保育施設	4		15	36	30	34	38	153
		0.0%	4.2%	10.9%	7.7%	8.9%	10.3%	7.2%
企業主導型	1		5	2				7
		0.0%	1.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
広域施設	4			2	3	2	1	8
		0.0%	0.0%	0.6%	0.8%	0.5%	0.3%	0.4%
公立幼稚園	6				68	69	64	201
					17.3%	18.1%	17.4%	9.4%
私立幼稚園	4				157	142	148	447
					40.1%	37.3%	40.2%	20.9%
施設利用児童数	36	48	125	160	386	374	369	1,462
		15.8%	34.8%	48.5%	98.5%	98.2%	100.3%	68.5%
在宅児童数		256	234	170	6	7	-1	672
		84.2%	65.2%	51.5%	1.5%	1.8%	-0.3%	31.5%
就学前児童数		304	359	330	392	381	368	2,134



※就学前児童数は平成30年3月31日現在の住民登録人口

※入所児童数は平成30年4月1日現在（企業主導型は平成30年4月9日現在）

※在宅児童数は、就学前児童数から施設利用児童数を除いた人数

平成30年度 児童福祉施設等入所状況

平成30年4月1日現在

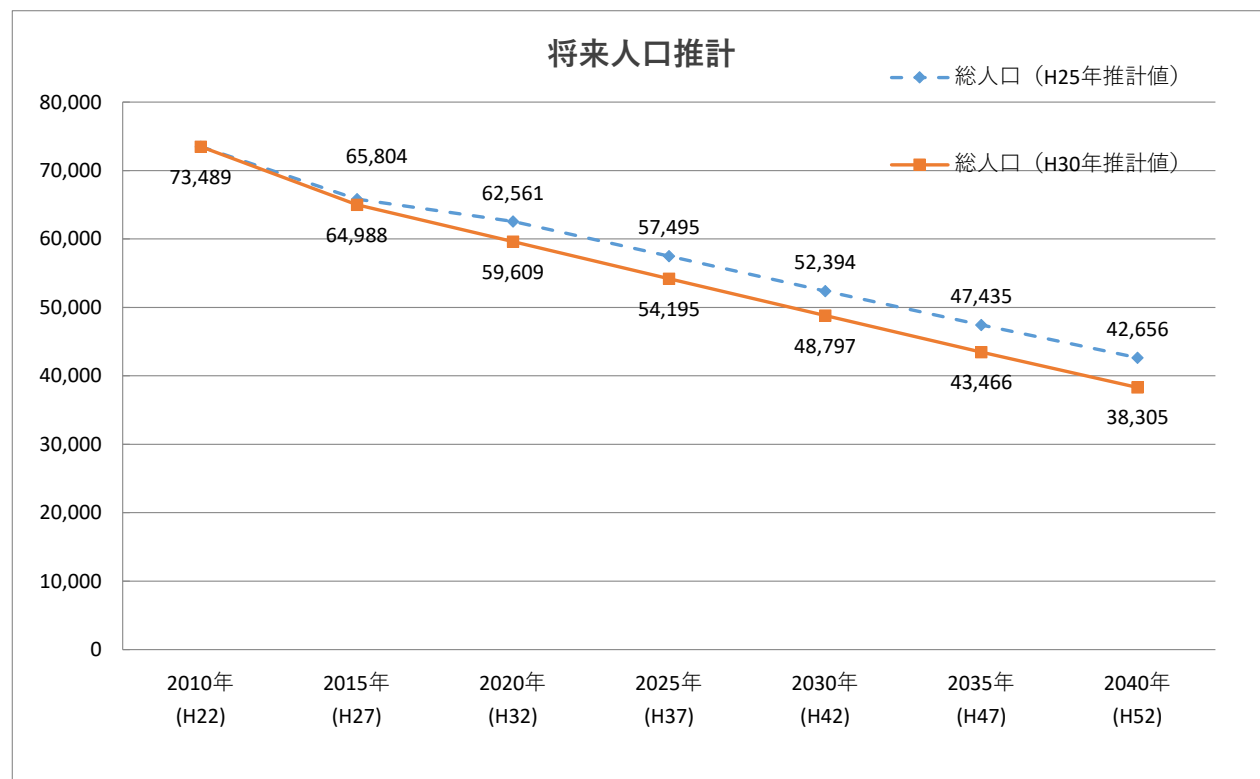
種別	施設名	利用定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	在所率	備考	
認可	公立	内の脇	45	6	14	10				30	66.7%	
		かやの実	60	6	6	9	14	13	15	63	105.0%	
		松岩	45		6	6	12	8	11	43	95.6%	
		牧沢きぼう	70	3	8	11	15	14	9	60	85.7%	
		崎浜	45			5	3	6	10	24	53.3%	
		階上	55	3	10	15	11	12	11	62	112.7%	
		新月	80	3	12	12	15	16	15	73	91.3%	
		津谷	70		7	14	12	13	14	60	85.7%	
	計	470	21	63	82	82	82	85	415	88.3%		
	私立	気仙沼第二	40	4	6	7	10	6	7	40	100.0%	
		新生	50	13	21	17	8			59	118.0%	
		計	90	17	27	24	18	6	7	99	110.0%	
	合計	560	38	90	106	100	88	92	514	91.8%		
	認定こども園	公立	鹿折（保育）	87	6	12	11	14	15	9	67	77.0%
鹿折（教育）			9				2	3	4	9	100.0%	
合計		96	6	12	11	16	18	13	76	79.2%		
小規模	公立	石甲	30				2	3	9	14	46.7%	
		月立	20					4		4	20.0%	
		岩月	30				5	6	1	12	40.0%	
		波路上	20				3	5	2	10	50.0%	
		くぐなり	20				2	3	1	6	30.0%	
		前沢										H29.3.31 休所
	小原木										H30.3.31 休所	
合計	120				12	21	13	46	38.3%			
地域型保育	企業	どんぐり	9	4	3	3				10	111.1%	
	合計	9	4	3	3				10	111.1%		

種 別	施設名	利用定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	在所率	備 考	
認可外	私立	双葉	42		11	8	11	12	42	100.0%		
		おひさま	85		11	19	17	15	16	78	91.8%	
		ばんびい	10		4	6				10	100.0%	
		若草	40				5	8	10	23	57.5%	
	合 計	177		15	36	30	34	38	153	86.4%		
企業主導型	企業	しゅんぼえん	18		5	2			7	38.9%		
	合 計	18		5	2				7	38.9%		
広域施設		たけのこ	—		1	1			2	—		
		室根こども園	—				1	1	2	—		
		米谷こども園	—		1	1			2	—		
		龍澤寺こども園	—			1	1		2	—		
	合 計			2	3	2	1	8	—			
幼稚園	公立	唐桑	30			14	12	6	32	106.7%		
		松圃	40			8	9	8	25	62.5%		
		津谷	100			17	19	23	59	59.0%		
		馬籠	20				4	5	9	45.0%		
		小泉	40			5	4	5	14	35.0%		
		大谷	100			24	21	17	62	62.0%		
	計	330				68	69	64	201	60.9%		
	私立	愛耕	100			32	33	40	105	105.0%		
		カトリック	80			17	17	20	54	67.5%		
		葦の芽	190			56	52	44	152	80.0%		
		葦の芽星谷	200			52	40	44	136	68.0%		
	計	570				157	142	148	447	78.4%		
	合 計	900				225	211	212	648	72.0%		
総 計 (A)		1,880	48	125	160	386	374	369	1,462	77.8%		
うち市内施設 利用児童数			48	125	158	383	372	368	1,454	77.3%	広域施設を除く	
就学前児童数 (H30.3.31現在) (B)			304	359	330	392	381	368	2,134	—		
施設利用割合 (A) / (B)			15.8%	34.8%	48.5%	98.5%	98.2%	100.3%	68.5%	—		
施設利用割合 (参考: H29)			10.6%	38.4%	38.8%	94.0%	100.0%	99.7%	64.5%	—		

## 気仙沼市の将来人口推計（全体）

年 年齢	H22年 (2010年)	H27年 (2015年)	H32年 (2020年)	H37年 (2025年)	H42年 (2030年)	H47年 (2030年)	H52年 (2040年)
0歳～14歳	8,746	6,592	5,362	4,539	3,804	3,177	2,697
15歳～64歳	42,118	35,537	30,823	26,629	22,831	19,307	15,893
65歳～	22,625	22,859	23,424	23,027	22,162	20,982	19,715
計	73,489	64,988	59,609	54,195	48,797	43,466	38,305

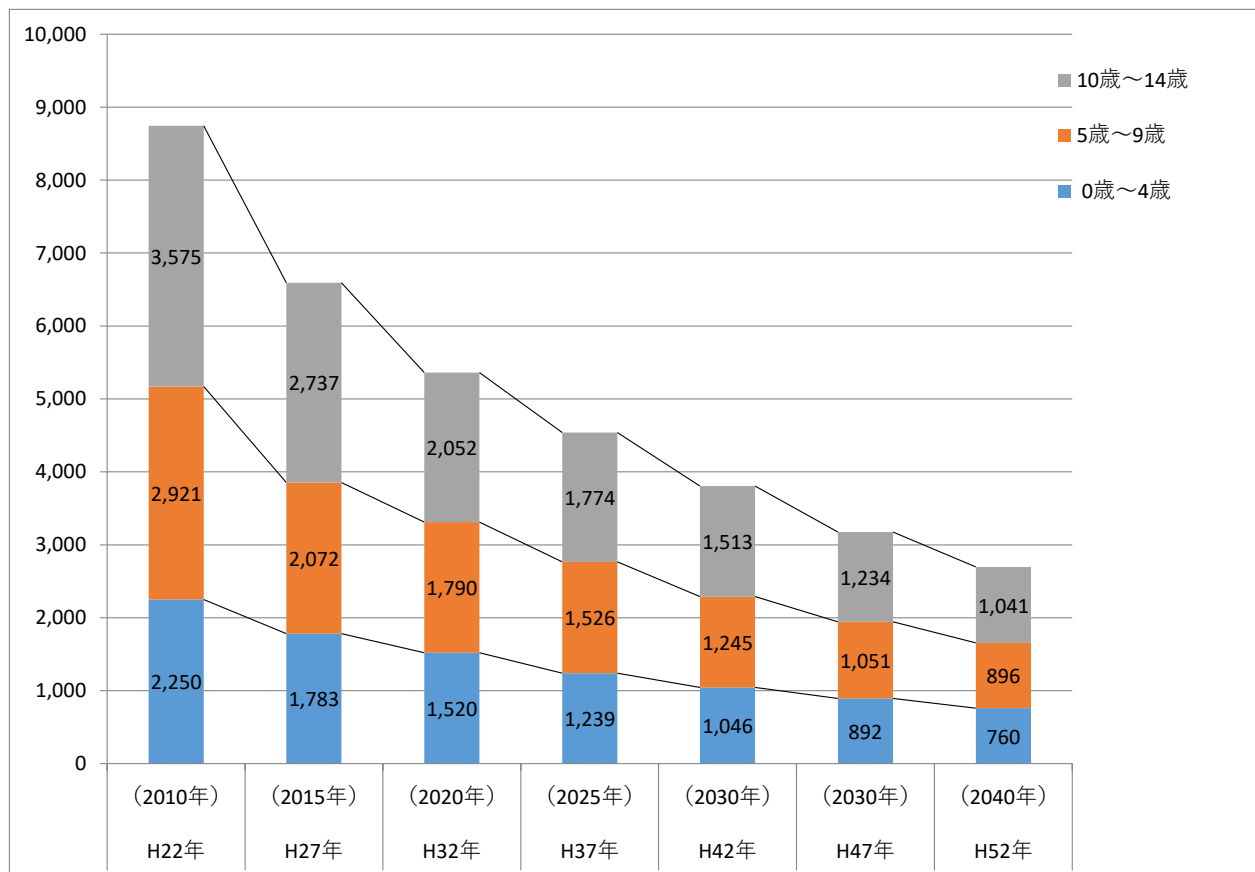
H30 国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計より



## 気仙沼市の将来人口推計（0～14歳）

年 年齢	H22年 (2010年)	H27年 (2015年)	H32年 (2020年)	H37年 (2025年)	H42年 (2030年)	H47年 (2030年)	H52年 (2040年)
0歳～4歳	2,250	1,783	1,520	1,239	1,046	892	760
5歳～9歳	2,921	2,072	1,790	1,526	1,245	1,051	896
10歳～14歳	3,575	2,737	2,052	1,774	1,513	1,234	1,041
計	8,746	6,592	5,362	4,539	3,804	3,177	2,697

H30 国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計より



# 幼児教育の推進体制構築事業

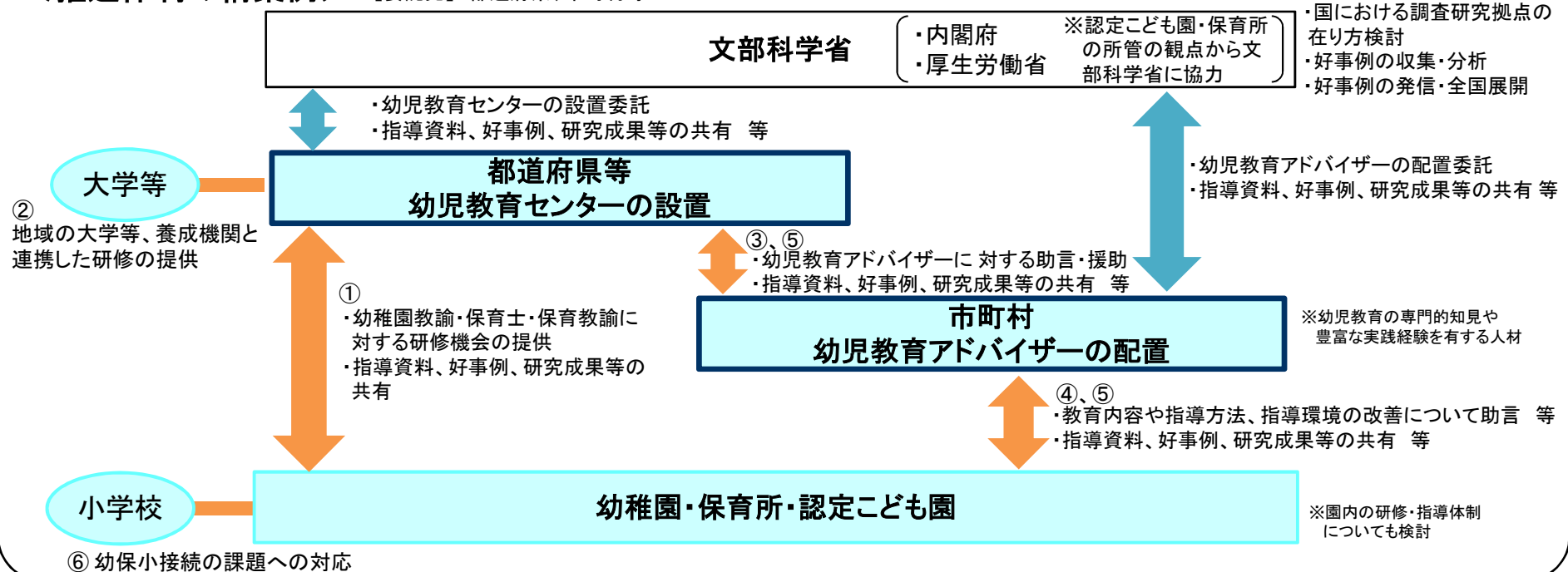
平成30年度予算額  
144百万円(183百万円)

- すべての子供に質の高い幼児教育の提供を目指す、子ども・子育て支援新制度の施行により、幼児教育の提供体制の充実が図られているところであるが、**提供される幼児教育の内容面についても充実を図る必要がある。**
- **幼稚園・保育所・認定こども園を通して、幼児教育の更なる質の充実**を図るため、地域の幼児教育の拠点となる「**幼児教育センター**」の設置や、幼稚園・保育所・認定こども園等を巡回して助言等を行う「**幼児教育アドバイザー**」の育成・配置など、以下の課題等への効果的な対応のために適切な、**地方公共団体における幼児教育の推進体制を構築するためのモデル事業を行い、好事例を収集・分析した上でその成果を全国展開する。**

- ①都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方
- ②研修の提供に当たっての大学等、地域の養成機関との連携
- ③都道府県による域内市町村に対する助言・指導の在り方
- ④市町村による域内の幼児教育施設への助言等の在り方
- ⑤助言等を行う人材の育成方法
- ⑥幼保小接続の課題へ対応するための幼児教育施設・小学校双方での対応の在り方 等

## <推進体制の構築例>

【委託先】 都道府県、市町村等



# 幼児教育の推進体制構築事業 採択先一覧

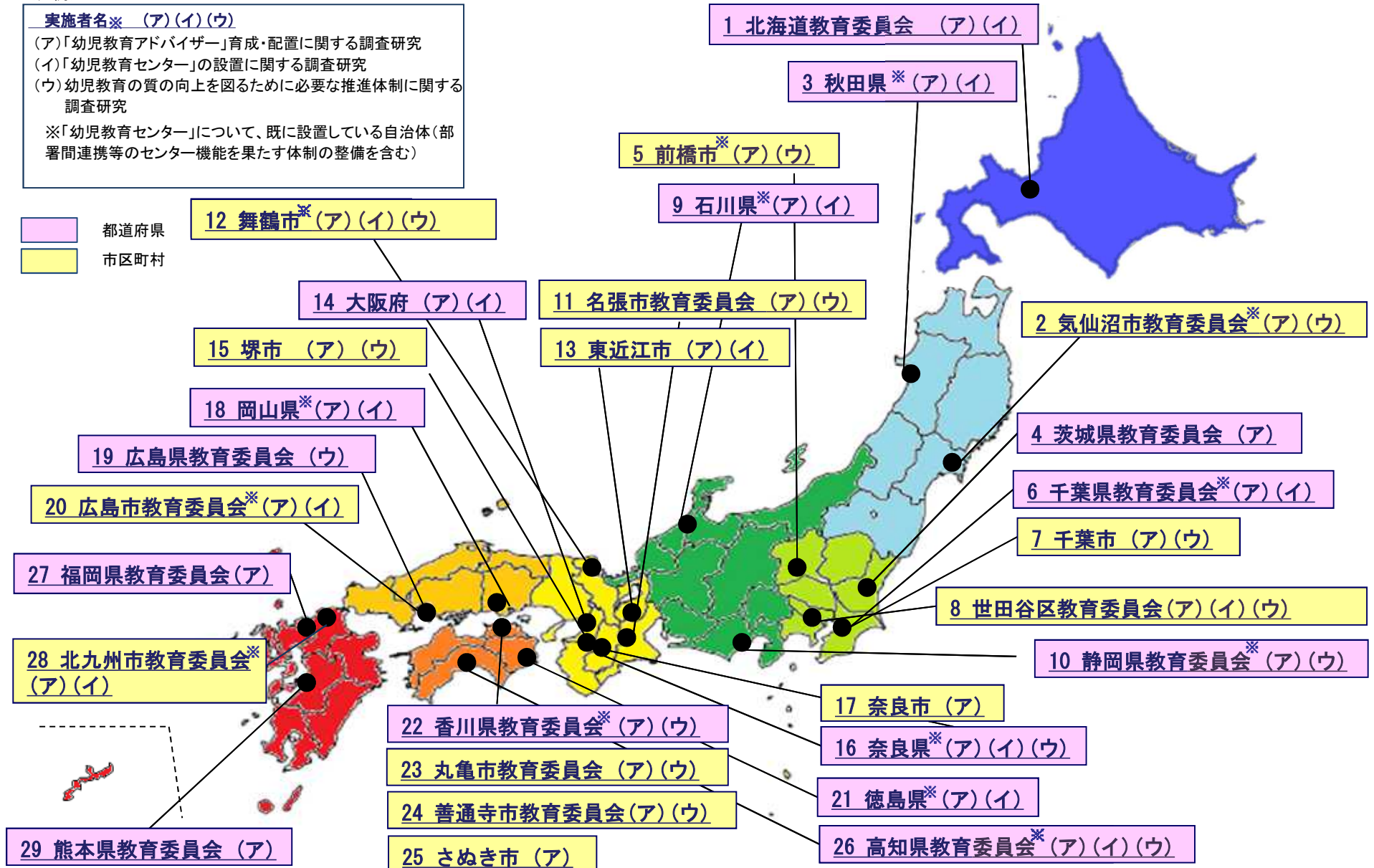
<凡例>

実施者名※ (ア)(イ)(ウ)

(ア)「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究  
 (イ)「幼児教育センター」の設置に関する調査研究  
 (ウ)幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

※「幼児教育センター」について、既に設置している自治体(部署間連携等のセンター機能を果たす体制の整備を含む)

都道府県  
 市区町村



## 幼児教育の推進体制構築事業 採択先一覧（詳細）

	申請機関名 事務連絡担当窓口	調査研究テーマ※1	幼児教育アドバイザー の配置	幼児教育センター		
				設置の有無	設置年度	設置形態
1	北海道教育委員会 総務政策局教育政策課	(ア)、(イ)	○	—	H31 年度 (予定)	未定
2	気仙沼市教育委員会 学校教育課	(ア)、(ウ)	○	○	H28 年 8 月～	組織として設置
3	秋田県教育庁 幼保推進課	(ア)、(イ)	○	○	H16 年 4 月～	組織として設置
4	茨城県教育委員会 就学前教育・家庭教育推進室	(ア)	○	—	H31 年 4 月以降	組織として設置 (予定)
5	前橋市教育委員会事務局 総合教育プラザ幼児教育センター	(ア)、(ウ)	○	○	H15 年 4 月～	組織として設置
6	千葉県教育庁 教育振興部学習指導課	(ア)、(イ)	○	○	H28 年 9 月～	部署間連携
7	千葉県 こども未来局こども未来部 幼保支援課	(ア)、(ウ)	○	—	設置せず	—
8	世田谷区教育委員会 教育委員会事務局 幼児教育・保育推進担当課	(ア)、(イ)、 (ウ)	○	—	H33 年度 (予定)	組織として設置 (予定)
9	石川県 健康福祉部少子化対策監室	(ア)、(イ)	○	○	H28 年 4 月～	部署間連携
10	静岡県教育委員会 義務教育課	(ア)、(ウ)	○	○	H28 年 4 月～	組織として設置
11	名張市教育委員会 学校教育室	(ア)、(ウ)	○	○	H28 年 4 月～	部署間連携
12	舞鶴市 健康・子ども部幼稚園・保育所課 乳幼児教育推進係	(ア)、(イ)、 (ウ)	○	○	H31 年 4 月～ (予定)	組織として設置 (予定)
13	東近江市 こども未来部幼児課	(ア)、(イ)	○	○	H30 年 4 月～	組織として設置
14	大阪府 大阪府教育センター	(ア)、(イ)	○	○	H30 年 4 月～	部署間連携
15	堺市教育委員会事務局 学校教育部学校総務課	(ア)、(ウ)	○	—	設置せず	—
16	奈良県 地域振興部教育振興課	(ア)、(イ)、 (ウ)	○	○	H28 年 10 月～	組織として設置
17	奈良市役所 子ども未来部こども園推進課	(ア)	○	—	設置せず	—



18	岡山県教育庁 義務教育課	(ア)、(イ)	○	○	H28 年 5 月～	部署間連携
19	広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター	(ウ)	○	○	H30 年 4 月～	組織として設置
20	広島市教育委員会 学校教育部指導第一課 総務部教育企画課	(ア)、(イ)	○	○	H28 年 9 月～	部署間連携
21	徳島県教育委員会 学校教育課	(ア)、(イ)	○	○	H28 年 7 月～	部署間連携
22	香川県教育委員会 義務教育課	(ア)、(ウ)	○	○	H28 年 6 月～	部署間連携
23	丸亀市教育委員会 教育部学校教育課 丸亀市こども未来部 幼保運営課	(ア)、(ウ)	○	—	設置せず	—
24	善通寺市教育委員会 教育総務課	(ア)、(ウ)	○	—	設置せず	—
25	さぬき市教育委員会 学校教育課 さぬき市健康福祉部 子育て支援課幼保連携推進室	(ア)	○	—	設置せず	—
26	高知県教育委員会 幼保支援課	(ア)、(イ)、 (ウ)	○	○	H15 年 4 月～	組織として設置
27	福岡県教育庁 教育振興部義務教育課	(ア)	○	—	H32 年度 以降 (予定)	検討中
28	北九州市教育委員会 指導部指導第一課	(ア)、(イ)	○	○	H28 年 4 月～	組織として設置
29	熊本県教育委員会 教育指導局義務教育課	(ア)	○	—	設置せず	—

## ※ 1 調査研究テーマ

- (ア) 「幼児教育アドバイザー」の育成・配置に関する調査研究
- (イ) 「幼児教育センター」の設置に関する調査研究
- (ウ) 幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

平成 29 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

【基礎情報】担当部署：宮城県気仙沼市教育委員会学校教育課

① 規模													
人口			65、920名（平成28年12月31日現在）										
② 幼児教育センター（名称：気仙沼市幼児教育推進室）													
設置年度			平成28年8月設置			設置形態			組織として設置				
設置場所			気仙沼市中央公民館3階			人数			4名（うち、常勤0名、非常勤4名）				
主な業務内容			<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育指導體制の整備</li> <li>・幼保小連携事業の体制づくり</li> <li>・調査研究</li> </ul>										
③ 幼児教育アドバイザー													
名称			人数（単費内訳）			雇用形態			主な経歴				
幼児教育コーディネーター			4名			謝金（4名）			公立園長経験者2名 公立保育所長経験者1名 子ども家庭課（行政）経験者1名				
主な業務内容			<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育指導體制の整備</li> <li>・幼保小連携事業の体制づくり</li> <li>・調査研究</li> </ul>										
派遣対象地域			全域										
④ 全幼稚園数、認定こども園数、小学校数、保育所数（園）（幼稚園・小学校：平成29年5月1日時点、認定こども園・保育所：平成29年4月1日時点）													
幼稚園			幼保連携型 認定こども園			保育所			地方裁量型 認定こども園			小学校	
うち、幼稚園型 認定こども園						うち、保育所型 認定こども園（※）							
10園			1園			11園			1園			16校	
国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私
-	6	4	-	-	-	-	-	9	2	1	-	-	-
⑤ 訪問施設数（園）（平成30年3月31日時点）													
幼稚園			幼保連携型 認定こども園			保育所			地方裁量型 認定こども園			小学校	
うち、幼稚園型 認定こども園						うち、保育所型 認定こども園							
10園			1園			11園			1園			16校	
国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私
-	6	4	-	-	-	-	-	9	2	1	-	-	-
⑥ 訪問回数（回）（平成30年3月31日時点）													
幼稚園			幼保連携型 認定こども園			保育所			地方裁量型 認定こども園			小学校	
うち、幼稚園型 認定こども園						うち、保育所型 認定こども園							
31回			1回			48回			1回			16回	
国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私
-	22	9	-	-	-	-	-	38	10	1	-	-	-
⑦ ⑤以外への派遣回数（回）（平成30年3月31日時点）													
3回			気仙沼中央公民館（2回）、リアスアーク美術館で研修会を実施										

（※）平成29年12月1日時点

## 【テーマ】

幼児教育コーディネーターが小学校を含め市内の全施設を訪問していることの工夫や成果について（幼保小合同研修の開催等）

## 【現状・課題】

気仙沼市は、平成18年に唐桑町と合併した後、平成21年に本吉町と合併し、1市2町を包含した体制で現在に至ります。旧気仙沼市では、幼稚園においては公立を設置せず、私立にその機能を分担し、保育所のみを管轄しておりました。また、旧唐桑町、本吉町の両2町において公立幼稚園は設置しているものの地域の実情もあり、幼稚園運営においては、授業日数や授業時間等も異なっていました。合併後、公立幼稚園の運営において、市として管理運営基準を示し、統一しようと試みた結果、地域住民の理解を得るのに多くの時間を要しました。また、公立保育所に関して、主に旧気仙沼市に多く設置しており、旧本吉町・唐桑町には1施設ずつ設置しておりました。

現在、本市として、市立幼稚園教員及び市立保育所職員の任用に関しては、両免許を所持していることを義務づけているものの、採用後の職員同士の人事交流が滞っております。また、様々な幼児教育施設（市立幼稚園、市立認可保育所、市立小規模保育所、私立幼稚園、私立認可保育所、私立認可外保育施設）があり、お互いの連携がほとんどなく、幼保小連携事業に取り組みにくい実態にあります。これらの要因として、行政（教育委員会と子ども家庭課）のつながりが希薄であることもあげられます。本市における質の高い幼児教育の提供に課題を残しており、このことが、幼児の集団生活への適応力、親の養育指導等に影響を及ぼしていると考えられます。小学校においては、小1プロブレム解消のための幼保小交流事業を推進しているが、浸透していない現状であります。

市町村合併等に伴う幼児教育施設の見直しや非正規雇用職員の増加に伴い、職能研修等も必要となってきたことから、気仙沼市では幼児教育施設の質的向上を図るため、幼保小の連携事業が市内の全域で同じように取り組めるような体制づくりをし、課題を探り、具体的な事業をおこすこととしました。その際は、前学校教育課長を中心に協議をすすめることにしました。

## 【協議した事項】

## ○幼児教育指導体制の確立

幼児教育アドバイザーに適した人材選定し、研修や先進地域の視察を通して資質の向上を図る。また、幼児教育アドバイザーを活用して、各園等の訪問調査を実施することで本市全体の幼児教育における課題が明確化し、その具体的な対応を可能にする。幼児教育指導の推進にあたっては、「調査研究実行委員会」の体制整備を確立するとともに、非正規雇用教職員の多い本市における職能研修の充実に努める。

## ○調査研究について

調査研究実行委員会を組織し、本市全幼稚園、保育所等の現状と課題を把握した上で、調査結果を分析し、指導方法等について協議を行うとともに、幼児教育アドバイザーにおける指導実践についての検証も行う。また、市内における幼保一元化についての検討を進めていく。

## ○幼保小連携事業の整備について

幼保小連携事業を推進し、幼保のほか私立幼稚園や小学校との情報交換・共有を行うことで、小学校へのスムーズな引継が実施できるとともに、幼保小共通した取り組みを行う体制を作る。

## 【活動状況】

昨年度、幼児教育推進室を8月に設置し、4名の幼児教育アドバイザー（今年度からは幼児教育コーディネーターとして活動しています）が市内の全幼稚園、保育所を訪問して、各園の抱える課題等の調査を行いました。幼児教育コーディネーターは、以前、幼稚園長や保育所長等を経験しており、公立・私立を問わず幼児教育施設職員との面識があったことから、訪問調査に関しての受け入れが容易であり、調査に関しても丁寧に回答を得ることができました。調査結果を踏まえ、関係各機関及び有識者による調査研究実行委員会を実施し、「職員の研修機会の確保」や「小学校との連携・接続」に関し共通の課題を共有し、次年度の方向付けを行いました。

今年度は、昨年度に各園から聞き取った内容を集計し、訪問指導に活用しております。昨年度は小学校を訪問することができませんでしたので、今年度は、幼児教育施設に加え、市内の全小学校を訪問、そして授業参観等を行い、学習及び生活状況を把握するとともに、本事業に対する理解や協力を得ることができました。「小学校との連携・接続」の課題に対しては、幼保小の職員を対象とした連携研修会を2回開催し、幼児教育施設から小学校への円滑で教育効果の高い接続について学びました。「職員の研修機会の確保」の課題に対しては、幼児教育施設の職員を対象としたスキルアップ研修会を開催しました。（参加しやすい土曜日の午後に設定）。

【今後の方向性】

- 幼保小連携事業の体制づくり
  - ・小学校区毎に幼保小連携研修会の開催
  - ・幼保合同研修会の実施（アプローチカリキュラムの作成）
- 子育て支援
  - ・宮城県が推奨している「学ぶ土台づくり推進事業」に取り組む
  - ・保護者対象のアンケートを基にして、円滑な幼保小接続につなげる
- 幼児教育指導体制の確立
  - ・職員対象の研修会の実施

幼児教育の推進整備体制構築事業に係る

### 第3回調査研究実行委員会次第

日時：平成30年8月24日（金）

午後4時20分から午後5時30分

場所：気仙沼市教育委員会会議室

1 開 会

2 教育長挨拶（2分）

3 出席者紹介（2分）

- （1）調査研究委員
- （2）教育委員会事務局

4 報 告（15分）

- （1）気仙沼市における就学前児童について（5分）子ども家庭課 資料1
- （2）平成30年度上半期調査研究に係る報告（10分）コーディネーター 資料2

5 協 議（40分）

（1）気仙沼市アプローチカリキュラムの作成について

- ① これまでの進捗状況と課題について
- ② カリキュラム作成における幼保小の連携について
- ③ その他

（2）幼保小の接続を目指した体制づくりについて

- ① 幼保小の連携推進における課題について（本日の研修等から）
- ② 幼保小の連携・接続を効果的に進める体制について
- ③ その他

（3）その他（8分）

6 閉会の挨拶（2分）

7 閉 会

幼児教育の推進体制構築事業に係る

## 第4回調査研究実行委員会次第

日時：平成31年1月28日（月）

午後3時00分から午後5時00分

場所：気仙沼市教育委員会 会議室

1 開 会

2 挨拶（3分）

3 出席者紹介（2分）

- （1）調査研究委員
- （2）教育委員会事務局

4 報 告（35分）

- （1）気仙沼市における就学前児童の現状について（10分）子ども家庭課
- （2）平成30年度事業概要報告（10分）幼児教育コーディネーター
- （3）3年間の事業の成果と課題について（15分）気仙沼市教育委員会

（ 休 憩 5分）

5 協 議（70分）

- （1）幼保小の接続を目指した取組と体制づくりについて（40分）
  - ① 気仙沼版「アプローチカリキュラムモデル」の改善点等について
  - ② 幼児教育施設と小学校の連携の充実について
  - ③ 幼保小の連携・接続を効果的に進める体制について
- （2）幼児教育の充実に向けた今後の体制について（30分）
  - ① 幼児教育コーディネーター・アドバイザーの役割と体制について
  - ② 幼児教育の充実を図るための連携の在り方について

6 閉会の挨拶（5分）

7 閉 会

〈小学校訪問記録〉

ねらい ・幼保小の連携における、各小学校の取り組み状況と課題について把握する。  
 ・小学校1年生の現状と学校生活における課題について把握する。

番号	学校名	全児童数	日時(校時)		内 容	訪問者		備考
1	階上小学校	188名	4月22日	1 2	・1年生(在籍26名) 1組:国語 〈担任, 支援員〉 ・2年生(在籍33名) 1組:算数 〈担任〉	三浦	千葉	保護者参観日
2	面瀬小学校	288名		2	・1年生(在籍 名) 1組:国語 〈担任〉	熊谷	清水	保護者参観日
3	津谷小学校	235名		5	・1年生(在籍38名) 1組:国語, 2組:音楽 〈担任, 支援員〉 ・2年生(在籍 名) 1組:算数, 2組:算数 〈担任〉	千葉	清水	保護者参観日
4	気仙沼小学校	242名		5	・1年生(在籍33名) 1組:算数, 2組:算数 〈担任〉	三浦	熊谷	保護者参観日
5	小泉小学校	50名	5月22日	2	・1年生(在籍 7名) 1組:算数〈担任〉 ・2年生(在籍 名) ひまわり学級(1名)	三浦	千葉	
6	九条小学校	311名	5月24日	2	・1年生(在籍40名) 1組:国語, 2組:算数 〈担任, 支援員〉	三浦	千葉	
7	松岩小学校	329名		2	・1年生(在籍60名) 1組:算数, 2組:国語 〈担任〉 特別支援学級(情緒障害1名)	熊谷	清水	
8	鹿折小学校	211名		4	・1年生(在籍34名) 1組:国語 〈担任〉	三浦	千葉	
9	水梨小学校	16名		4	・1年生(在籍1名) 単学級:国語 〈担任〉	熊谷	清水	
10	大谷小学校	153名	5月25日	2	・1年生(在籍20名) 1組:算数 〈担任, 支援員〉	三浦	千葉	
11	唐桑小学校	98名		2	・1年生(在籍17名) 1組:国語 〈担任, 支援員〉	熊谷	清水	
12	新城小学校	234名		4	・1年生(在籍32名) 1組:国語 〈担任〉 ひまわり学級 1名 〈担任〉	三浦	千葉	
13	中井小学校	64名		4	・1年生(在籍13名) 1組:図工 〈担任〉	熊谷	清水	
14	大島小学校	59名	6月5日	2	・1年生(在籍 9名) 1組:算数 〈担任, 支援員〉 ・2年生(在籍12名) 1組:算数 〈担任, 支援員〉	三浦	熊谷	
15	月立小学校	28名	6月18日	2	・1年生(在籍 5名) 1組:国語 〈担任〉	千葉	/	

〈訪問を振り返って〉

- ・入学して間もない時期の授業参観にもかかわらず、落ち着いて授業に取り組んでいる姿がみられた。担任の先生方が話し方や指導方法を工夫していると感じた。
- ・幼保小連携の必要性を感じているものの、手段を講じられないでいる学校もある。今年度の「幼保小連携研修会」の内容を充実させていきたい。

〈幼児教育施設訪問記録〉

- ねらい ・ 幼保小連携における今年度の現状と課題について把握する。  
 ・ 5歳児の保育参観を通して、小学校入学までの課題を把握する。

番号	施設名	全園児数	月日	内 容 (5歳児の在籍・活動名)	訪問者	備 考
1	馬籠幼稚園	9名	5月28日	・5名 ・【テーマ:やってみよう! 自然物で染め物あそび】	三浦・熊谷 清水	指導主事訪問
2	牧沢きぼう保育所	61名	6月1日	・9名 ・【当番活動と室内あそび】	三浦	
3	松岩保育所	43名		・12名 ・【ピョンピョンカエルを作って遊ぼう(折り紙製作)】	千葉	
4	階上保育所	62名		・11名 ※4・5歳児混合クラス編成 ・【集会と製作(カエルの製作)】	熊谷	
5	かやの実保育所	63名		・15名 ・【雨の絵(絵の具遊び)】	清水	
6	津谷保育所	60名		・14名 ・【集会と戸外あそび(好きな遊びと栽培活動)】	三浦	
7	波路上保育所	10名	6月4日	・2名 ※支援学校の指導を頂いている ・【栽培活動と戸外あそび】	清水	
8	くぐなり保育所	6名	6月5日	・1名 ・【集会と戸外遊び】	千葉	
9	崎浜保育所	24名		・10名 ・【戸外遊び】	清水	
10	新月保育所	74名	6月12日	・16名 ※支援員1名 ・【キャンプごっこ(テントを作って遊ぼう)】	三浦	
11	内ノ脇保育所	31名		・0. 1. 2歳児受け入れ施設	千葉	
12	気仙沼第二保育所	40名		・9名 ・【オペレッタ遊び(竹取物語)】	熊谷	
13	岩月保育所	12名	6月14日	・1名 ※4. 5歳児混合クラス編成 ※マザーズホームとの平行保育(当日欠席)	三浦・熊谷	
14	カトリック幼稚園	54名	6月18日	・20名 ※支援員1名 ※マザーズホームとの平行保育 【集会と製作ワーク(つくって遊ぼう)】	三浦	
15	月立保育所	4名		・0名	千葉	
16	双葉保育園	43名		・12名 ・【散歩と体育遊び】	熊谷	
17	けせんぬまおひさま保育園	79名	6月19日	・15名 ※4. 5歳児混合クラス編成 ・【夏祭りの踊りと七夕飾りの製作】	三浦	
18	石甲保育所	14名		・9名 ※支援員 ・【集会と灯笼製作(絵の具遊び)】	千葉	
19	愛耕幼稚園	106名		・40名(1クラス) ※支援員 ・【室内ゲームと交通教室】	熊谷	
20	葦の芽幼稚園	155名	6月26日	・44名(2クラス) ・【もじのワークと英語で遊ぼう!(塾講師)】	三浦 熊谷	
21	鹿折こども園	74名		・14名 ※1号認定4名 ・【戸外遊びとプール掃除】	千葉	
22	唐桑幼稚園	33名	6月28日	・6名 ・【唐桑の海のいいところを見つけて遊ぼう! (うみのたからものやさんごっこをしよう! )】	三浦・千葉 熊谷	指導主事訪問
23	葦の芽星谷幼稚園	139名	7月3日	・44名(2クラス) ・【もじのワークと英語で遊ぼう!(塾講師)】	三浦・熊谷	
24	新生保育園	59名	7月6日	・0. 1. 2歳児受け入れ施設	熊谷	
25	小泉幼稚園	14名	7月12日	・5名 ・【集まれ わくわく元気っこ(表現:つたえてみよう! )】	三浦・千葉 熊谷	指導主事訪問
26	大谷幼稚園	62名	7月24日	・17名 ・【なつまつりごっこをしよう! (協働活動:考えてみよう! )】	三浦・千葉 熊谷	指導主事訪問
27	松園幼稚園	25名	8月30日	・8名 ・【ごっこ遊びを楽しもう! (みんなででするとのしいね)】	三浦・熊谷 清水	指導主事訪問
28	津谷幼稚園	61名	9月5日	・23名 ・【ともだちといっしょってたのしいな (障害物競走を考えよう! )】	三浦・熊谷	指導主事訪問

〈訪問を振り返って〉

- ・昨年度より幼保小の連携が進んでいるところが何カ所もあり、この事業の成果も多少あったのではないかと感じる。  
 ・施設によってクラス編成は様々である。(異年齢児との混合クラス4施設、40名1クラス1施設、など)5歳児の生活環境の違いが大きかった。



